

9月18日（日）10:00～11:30 赤羽文化センターの第1学習室Aにおいて、9月例会(五十嵐郁子講師指導の手話学習会)を開催しました。会場参加20名（新規入会者4名含む）、Zoom参加2名、あわせて22名の方にご参加いただきました。



今回の例文

- ① 今月、オーストリアで開催された国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）総会で、デフリンピックが東京で2025年11月に開催すると決まりました。

「デフリンピック」手話



Word解説

- ・デフリンピックへの参加資格については、良い方の耳の聴力が55dB以上の聴力損失者のみ資格があるとされています。

- ② 9月23日は「手話言語の国際デー」です。NHKは、9月17日から1週間、手話に関する番組や、ユニバーサルなコンテンツを多数放送します。

Word解説

- ・コンテンツ（contents）とは、インターネットやテレビ、紙などのメディアを通して伝えられる情報内容のこと。

- ③ 秋といえば栗、柿、カボチャ、ブドウ、リンゴと食べ物ばかり考えます。でも、パンデミックが終息か、なんてニュースに、秋は旅行に行きたい。

表現のポイント

- ・語彙を増やそう ➡ さんま、コスモス、桔梗、紅葉、運動会、月見、など
秋にちなんだ言葉を手話で表現できますか？



コミ男とモア子のしゅわ談義

モア子：赤羽文化センターの第一学習室は、第一視聴覚室よりもWi-Fi環境が整っていますが、縦長の教室なので、後ろの席の人は見にくかったかしら。

コミ男：毎月、部屋の抽選に行っていただき、ありがとうございます。照明は、第一視聴覚室よりも明るくて、机もついているので、学習には向いていますね。

モア子：例文についてですが、新しい単語も入れながら2行以内に収まるように工夫して作られていましたね。これくらいの長さであれば、初めての人も臆することなく表現できるのではないかでしょうか。

コミ男：手話レベルがまちまちなので、指導が大変だと思いますが、よく練られた例文だと思いました。